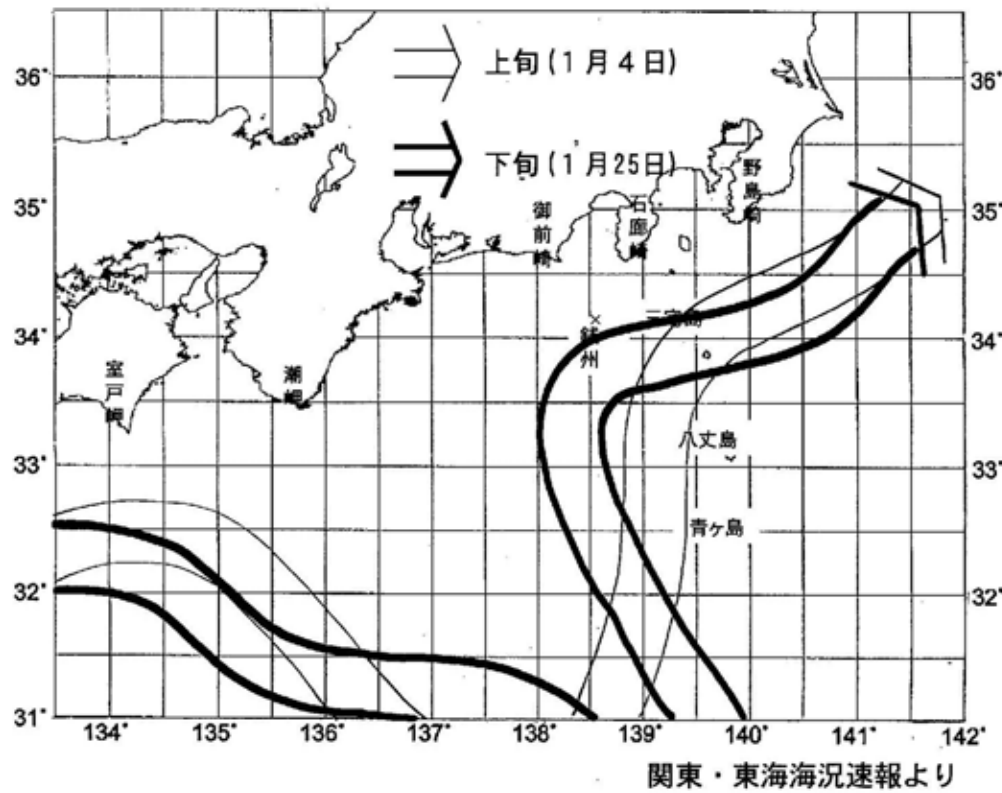


# 漁海況月報

平成31年1月1日

No.1 ~1月31日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



1月定地水温の旬平均値( ) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	16.5	16.8	16.5	17.5	15.6	15.9
	1.2	0.9	1.3	1.9	-0.1	1.2
中旬	15.7	16.0	16.2	17.0	16.3	15.2
	0.8	0.6	1.5	2.0	1.3	1.0
下旬	15.1	15.4	15.0	16.1	14.6	15.1
	0.6	0.4	0.7	1.4	0.1	1.1
月	15.7	16.0	15.7	16.8	15.5	15.4
	0.9	0.7	1.0	1.8	0.4	1.0

\*地頭方の水温観測は終了しました。

## [黒潮流路]

1月を通じてA型で、上旬は潮岬沖31.5°Nから南東に進み、30.5°N、137.5°E付近から八丈島の西139°E付近を北上し、三宅島付近を経て北東に流去した。中旬は潮岬沖32°N付近から南東に進み、30.5°N、138.5°E付近から八丈島の西138.5°E付近を北上し、三宅島付近を経て北東に流去した。下旬は潮岬沖31.5°Nから東南東に進み、30.5°N、139°E付近から八丈島の西を北北西に流れ、三宅島の西138.5°E付近から三宅島付近を経て東北東に流去した。

中旬には、三宅島付近の黒潮北流部から伊豆東岸に暖水波及がみられた。下旬には、三宅島西の黒潮屈曲部から、伊豆東岸に暖水波及がみられたほか、駿河湾口、遠州灘を経て熊野灘に向かう内側反流が形成された。

## [県下沿岸域]

1月上旬は、沼津「平年並」、伊東、稲取、下田、焼津「やや高め」、雲見「高め」であった。中旬は、伊東、稲取、沼津、焼津「やや高め」、下田、雲見「高め」であった。下旬は、稲取、沼津「平年並」、伊東、下田、雲見、焼津「やや高め」であった。

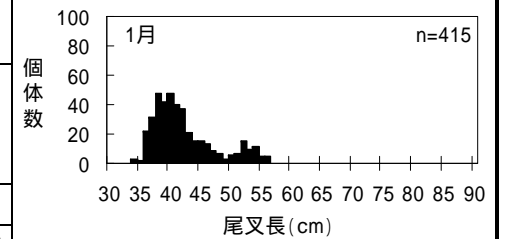
## [竿釣りカツオ]

1月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は7トンで前年同期(28トン)の23%であった。魚価は236円/kgで前年同月(377円/kg)を下回った。

漁場は26-27°N、140-141°Eの中南方海域であり、水揚げされた魚体のサイズは、極小(尾叉長38、40cmモード)を主体に、チン(尾叉長37cmモード)、小(尾叉長43cmモード)、中(尾叉長52cmモード)であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
31年1月上旬	-	-	-	-
中旬	-	-	-	-
下旬	7	1	6.6	236
31年1月計	7	1	7	236
30年1月計	28	2	14.1	377
29年1月計	-	-	-	-



## [定量網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は91.7トンで前年の同漁場の水揚量(46.9トン)の1.96倍であった。また、1か統あたりの水揚量は、13.1トンで前年(6.7トン)の1.96倍、平年(昭和57年~平成30年の平均34.0トン)の39%であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(35.9トン、サンマ・さば類・マルソウダ・マイワシ)、次いで川奈漁場(15.6トン、さば類・サンマ・マルソウダ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、サンマは24.8トンで前年比4.0倍、平年比1.6倍であった。さば類は18.8トンで前年比1.2倍、平年比39%であった。漁獲されたさば類はマサバ主体で、マサバは9.6トンで前年比4.1倍、平年比2.2倍と好調であったが、ゴマサバは9.3トンで

前年比69%、平年比20%と低調であった。マルソウダは14.6トンで前年比14.9倍、平年比10.8倍と前年、平年を大きく上回り、1月の漁獲量としては昭和58年以降、平成29年に次いで漁獲量が多かった。マイワシは6.1トンで前年比467.9倍、平年比26%であった。スルメイカは6.1トンで前年比1.1倍、平年比10%であった。

多獲された魚種の主な漁場は以下(表)の通りで、サンマは北川漁場が61%(15.0トン)、川奈漁場が17%(4.3トン)、さば類は北川漁場が32%(6.1トン)、川奈漁場が27%(5.2トン)、富戸漁場が17%(3.3トン)、マルソウダは北川漁場が38%(5.6トン)、川奈漁場が14%(2.0トン)、マイワシは北川漁場が89%(5.4トン)、富戸漁場が8%(0.5トン)、スルメイカは伊豆山漁場が22%(1.3トン)、富戸漁場が22%(1.3トン)、川奈漁場が15%(1.0トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
サンマ	24.8	3.96	1.55	北川、川奈
さば類	18.8	1.20	0.39	北川、川奈、富戸
マルソウダ	14.6	14.90	10.76	北川、川奈
マイワシ	6.1	467.92	0.26	北川、富戸
スルメイカ	6.1	1.06	0.10	伊豆山、富戸、川奈

**[サバたもすくい・棒受網]**

小川港所属の棒受網漁船の棒受網操業は14日に始まり、漁場は三本に形成された。しかし、翌操業以降は全船がたもすくい操業に転向し、漁場は利島に形成された。水揚量はマサバ465トン(前年同月比1.2倍)、ゴマサバ155トン(前年同月比72%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ21.2トン(前年同月17.7トン)、ゴマサバ7.0トン(前年同月10.2トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ127円で前年同月(137円)を下回った。ゴマサバは118円で前年同月(121円)とほぼ同額であり、前月(106円)を上回った。

たもすくい漁獲されたマサバの体長組成は31~32cmにモードを持つ単峰型、棒受網で漁獲されたゴマサバの体長組成は26cmと32cmにモードを持つ2峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
31年1月上旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中旬	0	56	2	5	0.0	11.2	210	117	三本、利島
下旬	465	98	5	17	27.4	5.8	127	118	利島
31年1月計	465	155	7	22	21.2	7.0	127	118	利島、三本
30年1月計	373	214	6	21	17.7	10.2	137	121	三本
29年1月計	5	359	5	12	0.4	29.9	279	111	三本

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

\*表中の「0」は水揚げがごく僅かであったことを、「-」は水揚げがなかったことを示す。

**[シラス船曳網]**

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が89kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が154kgであった。平均水揚量は125kgと前年同期(86kg)の1.4倍、平年同期(過去5か年平均:314kg)の40%であった。また、総水揚量は22.3トンで前年同期(18.0トン)の1.2倍、平年同期(79.7トン)の28%と、前年同期を上回り、平年同期を下回った。平均単価は1,285円/kgと、前年同期(1,686円/kg)の76%、平年同期(676円/kg)の1.9倍と、前年同期を下回り、平年同期を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	0.3	2	5	56	921
舞 阪	2.4	2	27	88	1,297
福 田	4.2	2	35	119	1,436
御前崎	8.4	3	32	263	1,155
吉 田	4.8	3	41	116	1,181
静 岡	2.4	2	39	61	1,720
平成31年1月計	22.3	14	179	125	1,285
平成30年1月計	18.0	16	209	86	1,686
平成29年1月計	154.1	15	258	597	561

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年同期:過去5か年(平成26~平成30年)平均値

**[まき網(いわし類)]**

マイワシの水揚量は、伊東港では52.4トン(前年同月比1.2倍、平年同月比1.4倍)、沼津港では68.4トン(前年同月比45.6%、平年同月比90.6%)、小川港では53.0トン(前年同月0.2トン、平年同月比94.6%)、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシの水揚げは、全ての港(伊東港、静浦港、沼津港、小川港)でなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは6.1トン、カタクチイワシは0.001トンであった。  
\*平年:過去5か年(平成26~平成30年)平均値

**[調査船駿河丸の動向]**

1月7日 ~ 1月8日 地先定線観測調査 (2日間)  
1月29日 ~ 1月30日 さくらえび調査(面積密度) (2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>



3月上旬からホームページのアドレスが変わります。

httpと://fish-exp~~~の間にsが追加され、https://fish-exp~~~と変わります。

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。